

作成日: 2006/02/22

改定日: 2018/08/23

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

製品名	SL 専用プライマー
会社名	二瀬窯業株式会社
住所	〒820-0044 福岡県飯塚市横田 669
担当部署	技術部技術課
電話番号	0948-22-0447

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康有害性	生殖毒性: 区分 1B
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性): 区分 2 水生環境有害性(長期間): 区分 3

(注) 上記以外の物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関する項目は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】	使用前にSDSを入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外または換気のよい場所で使用すること。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 容器に余った製品や容器を洗った洗浄水は絶対に河川に流さないこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、多量の水と石鹸で洗浄すること。皮膚

刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、気分が悪い場合、医師の処置を受けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合：気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

【保管】 容器を密閉し、換気の良いところで施錠して保管すること。

凍結(3℃以下)や高温(40℃以上)は避け、屋内で保管すること。

【廃棄】 内容物や容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS 番号
アクリル系共重合体	40.2%	既存(非公開)	未登録
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	3.5%	(7)・172 , 10・296	9016-45-9
フタル酸ジノルマル-ブチル	1.0%	3-1303	84-74-2
その他添加剤(A,B 等)	0.6%未満	既存(非公開)	非公開
水	54.8%	既存	7732-18-5

【4. 応急措置】

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸し易い姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類を全て脱ぎ、多量の水と石鹸で洗浄すること。 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は必ず医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中を洗浄し、気分が悪い場合、医師の処置を受けること。
応急措置をする者の保護	救助者は保護手袋、保護眼鏡、保護面などの適切な保護具を着用すること。

【5. 火災時の措置】

消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	ラテックス状態では不燃である。乾燥物は可燃であり、燃焼ガスには、二酸化炭素、一酸化炭素等のガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意すること。
特有の消火方法	消火作業は風上から行うこと。
消火を行なう者の保護	消火作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用すること。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面等を着用する。こぼれた場所は滑り易いために注意すること。
環境に対する注意事項	漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。 河川、湖沼へ流出した場合は直ちに監督官庁に連絡をとること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	多量に流出した場合は毛布、土嚢等を用いてせき止め、バキューム等で汲み上げたり、硫酸バンド等の凝集剤を散布して凝固させ、少量の場合でも水で流さずウエス等で拭き取り、回収物等は、【13. 廃棄上の注意】を参考にしながら処理すること。
二次災害の防止策	滑りやすくスリップ事故の原因となる為、濡れた状態で放置しないこと。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。

【7. 取扱いおよび保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱い場所の近くに安全シャワー、洗眼、手洗い装置を設置すること。 屋外または換気のよい場所で使用すること。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
安全取扱注意事項	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 できるだけ蒸気(揮発成分)を吸入しないこと。
接触回避	【10. 安定性及び反応性】を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、換気の良い、施錠できる場所に保管すること。 凍結(3℃以下)や高温(40℃以上)は避け、屋内で保管すること。 皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵すること。 混触禁止物質は【10. 安定性及び反応性】を参照。
安全な容器包装材料	内面コートされた金属容器及びプラスチック容器。

【8. ばく露防止及び保護措置】

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	日本産業衛生学会(2016年版) 5mg/m ³ (フタル酸ジ-ノルマル-ブチルとして) ACGIH(2016年版) TWA 5mg/m ³ (フタル酸ジ-ノルマル-ブチルとして)
設備対策	室内で取扱う場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに安全シャワー、洗顔、うがい、手洗い装置を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸器用保護具	防毒マスク
手の保護具	ゴム又は樹脂製の保護手袋
眼の保護具	ケミカルゴーグル、保護眼鏡、保護面

皮膚及び身体の保護 厚手の長袖、長ズボン

【9. 物理的及び化学的性質】

外観	物理的状态	液体
	形状	液体
	色	乳白色
臭い		微アクリル酸エステル臭
臭いのしきい(閾)値		データなし
pH		7.0~9.0
凝固点		約 0°C
沸点		約 100°C
引火点		引火しない
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		データなし
溶解性		水に無限大に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数		データなし
自然発火温度		自然発火せず
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		0~300 mPa·s
動粘性率		データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常の取扱い条件においては安定で危険性はない。
危険有害反応可能性	特になし
避けるべき条件	凍結(3°C以下)や高温(40°C以上)は避けること。
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	特になし

【11. 有害性情報】

混合物として試験したデータはないので、類似製品及び各成分の有害性情報と混合物としての GHS 分類結果を以下に記載する。

製品有害性情報

急性毒性(経口)	類似製品及び各成分のデータより混合物は分類できない。
急性毒性(経皮)	類似製品及び各成分のデータより混合物は分類できない。
急性毒性(吸入、蒸気、粉じん、ミス ト)	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。

刺激性	
呼吸器感作性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
皮膚感作性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖細胞変異原性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
発がん性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
生殖毒性	成分データより混合物は、区分1B（生殖能又は胎児への悪影響のおそれ）となる。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
吸引性呼吸器有害性	成分データが不十分のため、混合物は分類できない。
成分有害性情報	
アクリル系共重合体	
急性毒性(経口)	類似品データ LD50(ラット)>2,000mg/kg
急性毒性(経皮)	類似品データ LD50(ラット)>2,000mg/kg
フタル酸ジノルマルブチル	
急性毒性(経口)	LD50(ラット)=6,300mg/kg
急性毒性(経皮)	LD50(ウサギ)≥4,000mg/kg
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	LC50(ラット)≥15.68mg/L
皮膚感作性	ヒトの事例研究から陽性を示唆する結果がある。
生殖毒性	ラット及びマウスの生殖毒性試験で生殖能低下、妊娠中期の流産等がみられ、ラットでは次世代雄の精巣等の異常がみられている。これらの毒性の多くは親動物の一般毒性影響がみられない用量で発現している。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	マウスに吸入暴露した試験で、上気道刺激、呼吸抑制症状などがみられている。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ラットの4週間吸入暴露試験で、区分1のガイダンス値の範囲内の低濃度から、局所影響として鼻腔粘膜細胞の過形成及び喉頭の扁平上皮化生が認められたとの記述がある。
ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験で中程度から強度の刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	ウサギを用いた眼刺激性試験で中程度から強度の眼刺激性がある。
刺激性	
生殖毒性	親動物の妊娠率や胚数の減少がみられる。
添加剤 A	
急性毒性(経口)	LD50(ラット)=284mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギの試験で、腐食性がみられた。ヒトに対して腐食性の記載がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激	ヒトに対して不可逆な障害があり、ウサギの試験で腐食性の記載がある。
刺激性	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	臓器(呼吸器系)の障害を示す。
吸引性呼吸器有害性	吸引により肺炎で死に至る記載がある。

【12. 環境影響情報】

生態毒性 混合物として試験したデータはないので、各成分の有害性情報と混合物としての GHS 分類結果を

以下に記載する。

製品有害性情報

水生環境有害性(急性)	成分データより混合物は、区分2(水生生物に毒性)となる。(但し、データのない成分 40.7%を含む。)
水生環境有害性(長期間)	成分データより、区分3(長期継続的影響によって水生生物に有害)となる。(但し、データのない成分 40.7%を含む。)

成分有害性情報

フタル酸ジ・ノルマル・ブチル

水生環境有害性(急性)	魚類(イエローパーチ)96 時間 LC50=0.35mg/L
水生環境有害性(長期間)	急速分解性があり、甲殻類(ヨコエビ科)の 10 日間 NOEC=0.10mg/L、 魚類(ニジマス)の 99 日間 NOEC=0.10mg/L である。

ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル

水生環境有害性(急性)	甲殻類(ミシドシュリンブ)48 時間 LC50=0.71-2.2mg/L
水生環境有害性(長期間)	急速分解性がなく、魚類(ファットヘッドミノー)の 7 日間 NOEC=1mg/L

残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動度	データなし
オゾン層への有害性	データなし 尚、モントリオール議定書にリストアップされた物質を含まない。

【13. 廃棄上の注意】

残余廃棄物	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。
汚染用器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器は内容物を完全に除去した後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

【14. 輸送上の注意】

国際規制	
国連番号	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	船でばら積み輸送する場合は、未査定物質を含むため、査定のための申請が必要。
航空規制情報	非該当
国内規制	
陸上規制	道路法、消防法に従った容器、積載方法で輸送する。
海上規制情報	海洋染防止法、船舶安全法に従った容器、積載方法で輸送する。 非該当
航空規制情報	航空法に従った容器、積載方法で輸送する。
輸送の特定の安全対策及び条件	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒落下、損傷がないように積みこみ、荷崩れ

の防止を確実に行う。

車両等で輸送する場合は、運転手は運送注意書(イエローカード)を保持してください。

緊急時応急措置指針番号

なし

【15. 適用法令】

化審法	法第2条 第5項 優先評価化学物質 α -（ノニルフェニル）- ω -ヒドロキシポリ（オキシエチレン）
労働安全衛生法	57条の2 第1項（通知対象物質） フタル酸ジ-ノルマル-ブチル 57条 施行令第18条（表示対象物質） フタル酸ジ-ノルマル-ブチル
化学物質管理促進法	法2条第2項 施行令第1条 別表1（第1種指定化学物質） ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル
消防法	非危険物
海上汚染防止法	ばら積み運送 未査定物質 個品運送 海洋汚染物質に該当しない

【16. その他の情報】

本 安全データシートは、現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の手扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、弊社は安全データシート記載事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が知見を有さない危険性がある可能性があります。